

幼児からお年寄りまで

8種類の予防接種を実施

現在、市が実施している予防接種は、4月のツベルクリン反応検査をはじめ、BCG接種、生ワクチン投与、日本脳炎予防接種、百日咳・ジフテリア（破傷風）混合予防接種、ジフテリ

ア予防接種、種痘、インフルエンザ予防接種の8種類。このほかレントゲン撮影なども実施しており、幼児からお年寄りまでを対象にいろいろな予防を行なっています。

対象者にはハガキや回覧、広報紙などを通じてお知らせしますので、お忘れのないように必要なものを受けてください。

なお、日本脳炎予防接種とインフルエンザ予防接種は希望者だけで、有料ですが他の予防接種は無料です。

【写真は元吉原公民館で行なわれた三種混合予防接種】

45年のイオウ酸化物の測定結果

環境基準の達成はまだまだ

…年間平均は0.052PPm…

昭和45年のイオウ酸化物の測定結果がこのほどまとまりました。イオウ酸化物の測定は昭和43年8月から実施していますが、この結果、はじめて年間の同時期比較ができるようになりました。

全測点の年間平均は44年が0.058PPmでしたが、45年は0.052PPmに減っています。また、年間の平均値の最高は44年は元吉原中学校の0.097PPmでしたが、45年は富士保健所の0.064PPmになつています。

各測点の年間平均値は次のとおりです。富士保健所0.064PPm(44年0.063PPm)、第三中学校0.054PPm(44年0.065PPm)、勤労青少年会館0.051PPm(44年0.049PPm)、元吉原中学校0.062PPm(44年0.077PPm)、富士中学校0.052PPm(44年0.052PPm)、鷹岡公民館0.052PPm(44年0.056PPm)大淵中学校0.028PPm(44年0.030PPm)

高濃度の出現は大幅に減る

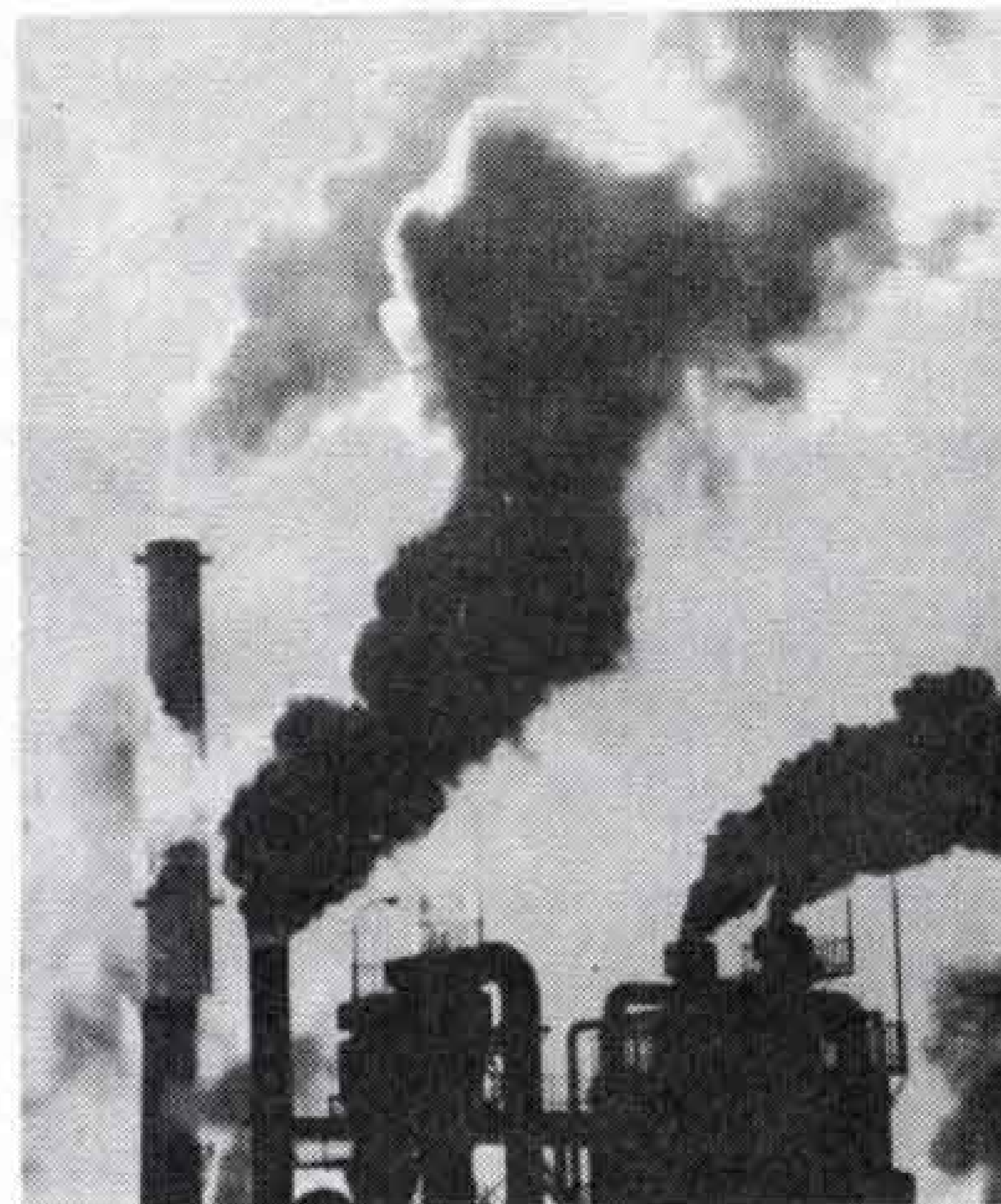
以上の結果でもわかるように、年間平均値が環境基準の0.05PPm以下の測点は大淵中学校だけで、他の測点はいずれもオーバーしています。しかし、人体にもつとも影響のあるといわれる0.2PPm以上の高濃度出現回数は大幅にへり、全測点が環境基準を満しています。

各月ごとの測定値は、別表のようになつています。この表でもわかるように5

月から7月の3カ月間に、第三中学校と勤労青少年会館の郊外の測点で高濃度がみられます。これは、気象の影響と考えられ、それ以降は大幅に減少しています。

なお、イオウ酸化物の排出量は、使用重油のイオウ分が平均0.3%から平均2.5%と6分の1くらい減少しています。ところが、重油の消費量の伸びがこれを上回っているため、絶対量は44年よりも多くなつています。

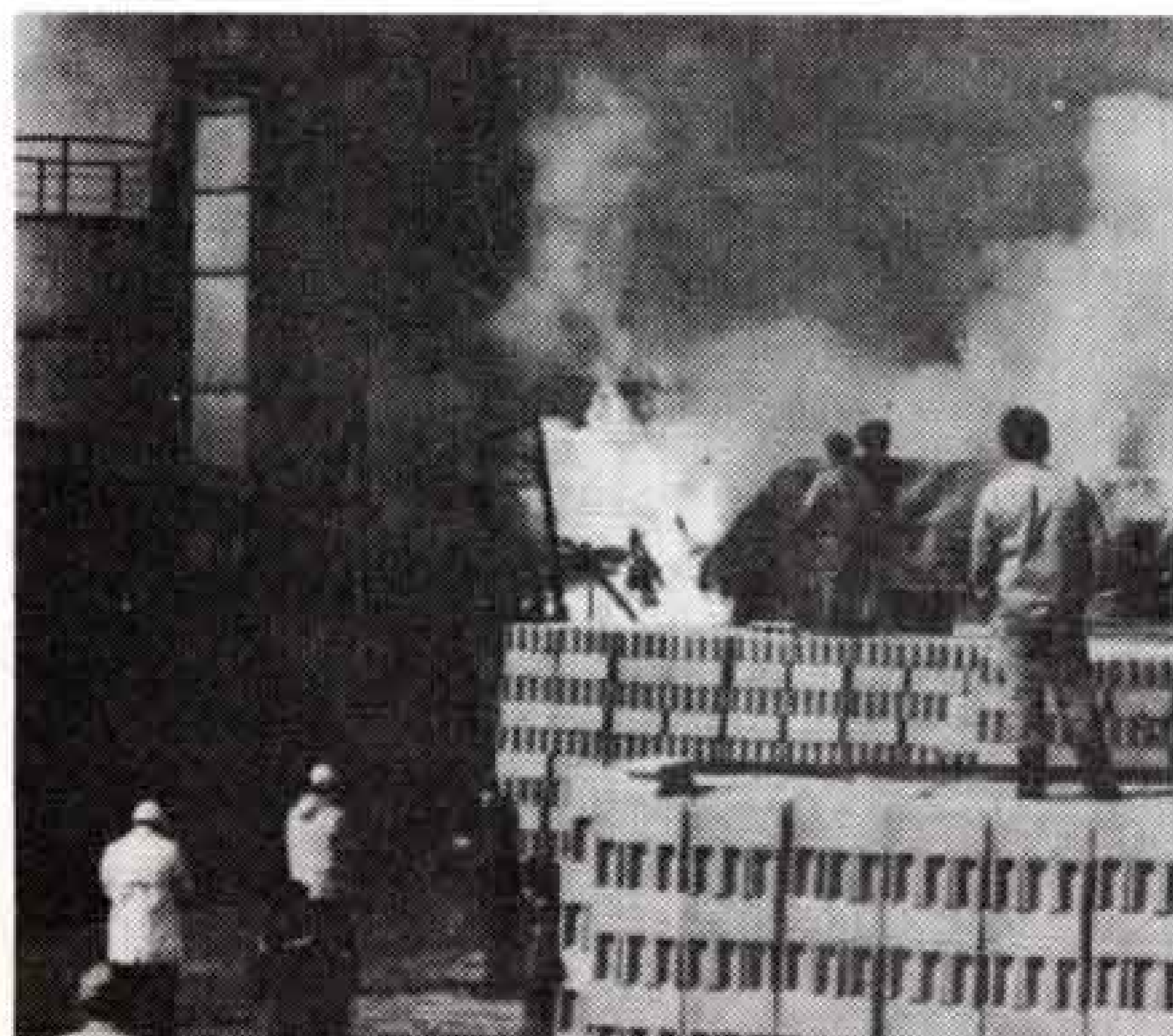
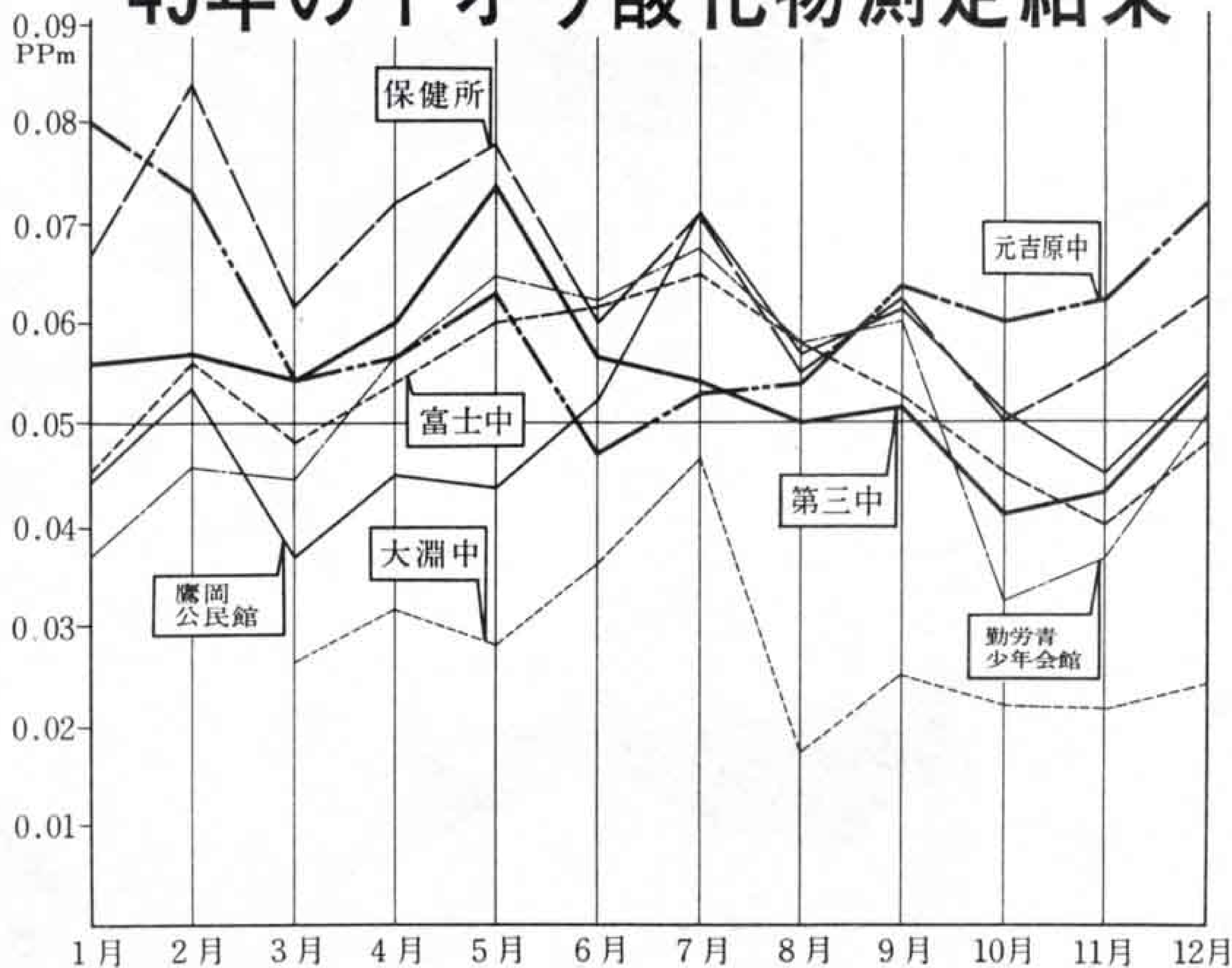
こうした状況のなかで全測点の年間平均値が、44年と比較して減少しているのは、大気汚染防止法あるいは公害防止協



定のなどによる施設の改善などの効果が表われてきたものと考えられます。

しかし、イオウ酸化物の濃度は依然として環境基準0.05PPmを超えている測点が多く、そのほかの環境基準もまだ達成していませんので、協定の改訂などの指導を行なつています。

45年のイオウ酸化物測定結果



あぶない!! 消忘れ切忘れ

春の火災予防運動 2月28日～3月13日

火災の発生しやすい季節です。市内では2月までに33件もの火災が発生しています。外出するときの火の元の点検、タバコの投げ捨てや寝タバコの防止に十分注意してください。

第2次富士市総合開発計画

豊かで 美しく 都市づくり 住みよい

「明るい豊かな市民生活の実現と、あすの郷土の発展を期すには…」と、昭和46年から60年を目標とする長期構想「第2次富士市総合開発計画」が、このほど富士市総合開発審議会（中村新吾会長ら委員30名）から渡辺市長に答申されました。この開発計画書では、〈住みよい生活環境の確立〉〈市民教育水準の向上〉〈市民経済生活水準の向上〉の3点を都市づくりの基本目標に設定し、現況の問題と課題を分析しながら昭和60年の富士市の姿を描いています。市長は、この答申をもとに「富士市総合計画基本構想」を3月定例会市議会に提案し議決をうけたあと、さらに、これをもとに年次別に具体的な計画を策定していきます。

富士市の都市づくりは、新市発足を前提に、昭和41年9月、岳南2市1町合併促進協議会でつくられた「富士市総合開発計画（新都市建設計画）」を基本としてすすめてきました。この計画も実施段階に入つてすでに4年たち、東部の中核都市としての基盤を確立しつつあります。

しかし、こうした産業の振興と経済の伸長は、市民の消費生活を豊かにする反面、交通・公害・住宅・地価など多くの都市問題がおき、富士市をとりまく環境は大きく変化しています。

このため「豊かで美しく住みよい都市づくり」を実現するには、第2次総合開発計画の策定が必要になりました。

第2次計画は、「住みよい生活環境の確立」「市民の教育水準の向上」「市民の経済生活水準の向上」を都市づくりの基本目標にあげ、それぞれを確立することによつて、「太陽と緑と空間のある住みよい富士市」をきずきます。

この基本目標を実現するために、都市基盤整備計画・生活基盤整備計画・教育

文化向上計画・市民福祉向上計画・郷土保全計画・産業振興計画の6部に分けました。



そこで、各部門ごとに現在の状況や問題点などをこまかく分析して、それぞれの基本方向をまとめ、これからの市政運営の指針としました。

第2次計画は、今年から昭和60年までの長期計画なので、第1段階と第2段階に分け、昭和50年までを第1段階としました。

昭和60年までの長期計画

第1段階は昭和50年を目標に

第1段階の課題としては、財政収支の検討、行政機能の向上、地域開発制度の導入、国・県に改善を要望する課題、市民の理解と協力の推進があげられます。

この第2次計画を策定するにあたり、富士市の昭和50年、60年における人口、経済規模など基本条件を想定しました。

昭和50年と60年の総人口を推計すると50年にはおおむね21万人、60年には27万人前後に拡大するものと予測されます。このうち労働力人口は、昭和40年の7万6189人から50年には10万4000人、60年には、13万6300人になるものと思われま

す。第2次、第3次産業の高度成長に主導されながら、農業を中心とした第1次産業も順調に発展することが見込まれます。

なかでも第3次産業の高度成長によつて、商業都市の性格をあわせもつ、総合的生産拠点都市への脱皮が期待されます。

生活意識の基礎的欲求も、生きることや健康であることなどから、昭和50年代からは、自由であり格差のない、精神的生活を重視した意識が高まりますので、これに対する施策が必要になります。

第2次富士市総合開発計画は、みなさんの理解と協力がなくてはできませんので、積極的な協力をお願いいたします。

1月の交通事故

件数 257件
死者 5人
負傷者 154人

移動市民相談



3月2日 原田公民館
3月16日 田子浦公民館

時間は午前10時から
午後3時まで。

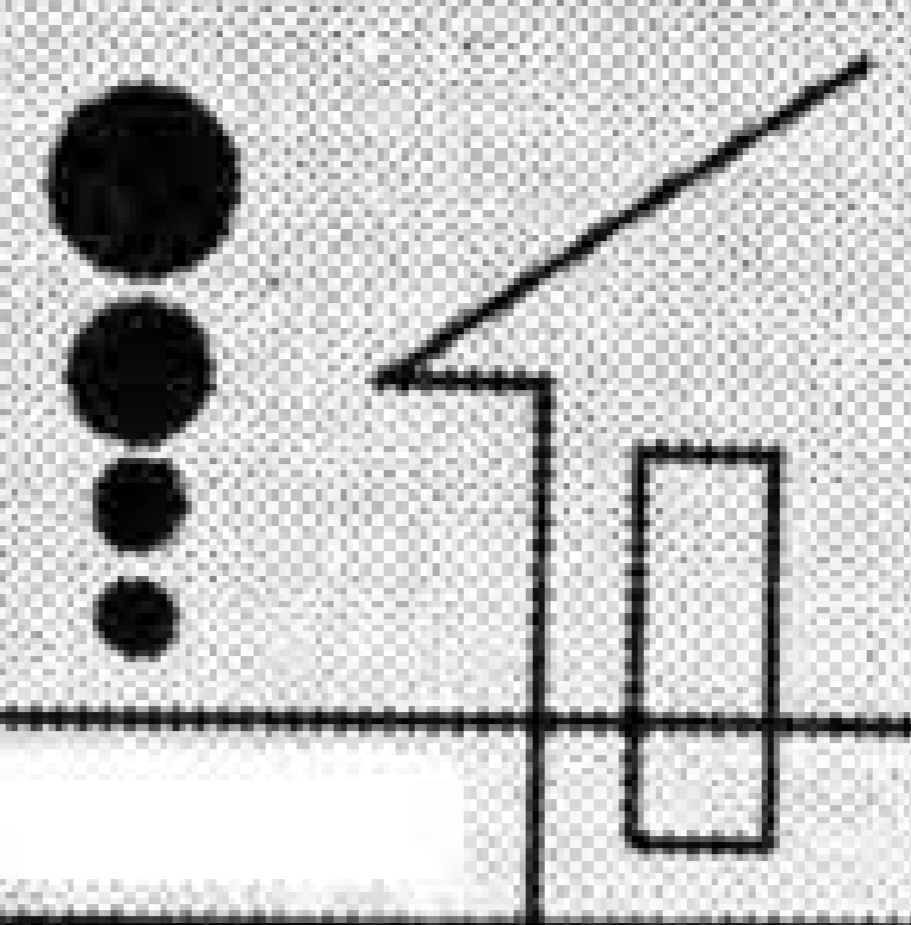
相談員は、行政相談員、消費生活相談員、市相談室職などです

1月の火災件数

25件発生
損害額4918万円

タバコの不始末が8件
でもつとも多くなつて
います。十分注意して
ください。

市政モニター提言



もっと子どもたちに 遊び場を

問

市内に児童公園が少ないのにあきれてしまう。特に駅南地区に少ない。市営住宅が密集している宮島、千鳥町、富士見カ丘には子どもの遊び場さえない。これでは情操の豊かな人間が育つわけがない。

立派な遊具などいらないから、チビツコに広場を与えてやつてほしい。そうすれば、みんなが協力して広場をつくると思う。町づくりとはそういうものではないだろうか……。(白井雪枝)

答

市内には児童の遊び場が100余カ所にあります。このうち20カ所が1000平方メートル以上の広さの遊び場です。

これらの遊び場は、各地区、各町内で

用地の予定をたてていただき、遊具に対して市と社会福祉協議会で補助をしています。

今年度は10カ所に対して補助を行ないません。なお、富士見カ丘には2カ所に遊び場が設けてあります。千鳥町にはまだ遊び場がありませんので、地区で相談していただき、用地などについて検討していただきたいと思います。

なお、市ではこのほかチビツ子広場の設置をすすめています。これは空地を利用して、さくや整地をして子どもたちが飛び回れる広場づくりです。土地所有

者で空地をお持ちの人は市にお貸しいただきたいと思います。もちろん、所有者が使用するときはすぐにお返しします。

こどもの遊び場については以上のように行なつていまして、みなさんの協力をお願いします。(福祉事務所)



消火栓は地上式に したらどうか

問

私たちが施設を要望するときなど、役人はとかく「そこで何人死亡したのか」「何人負傷したのか」とか聞く。しかし、それでは後の祭りだ。また、せつかく施設をつくっても役に立たないものが多い。

たとえば消火栓がそうだ。地下のものは水がたまったり、砂にうもれて緊急のときに役に立たない。立ち上りの消火栓が非常に便利で有効だと思う。設置する場所にしても、住民から要望のでもまえに検討するのが消防署の仕事ではないの

か。災害が発生してから検討するのでは遅すぎる。(山崎栄一)

答

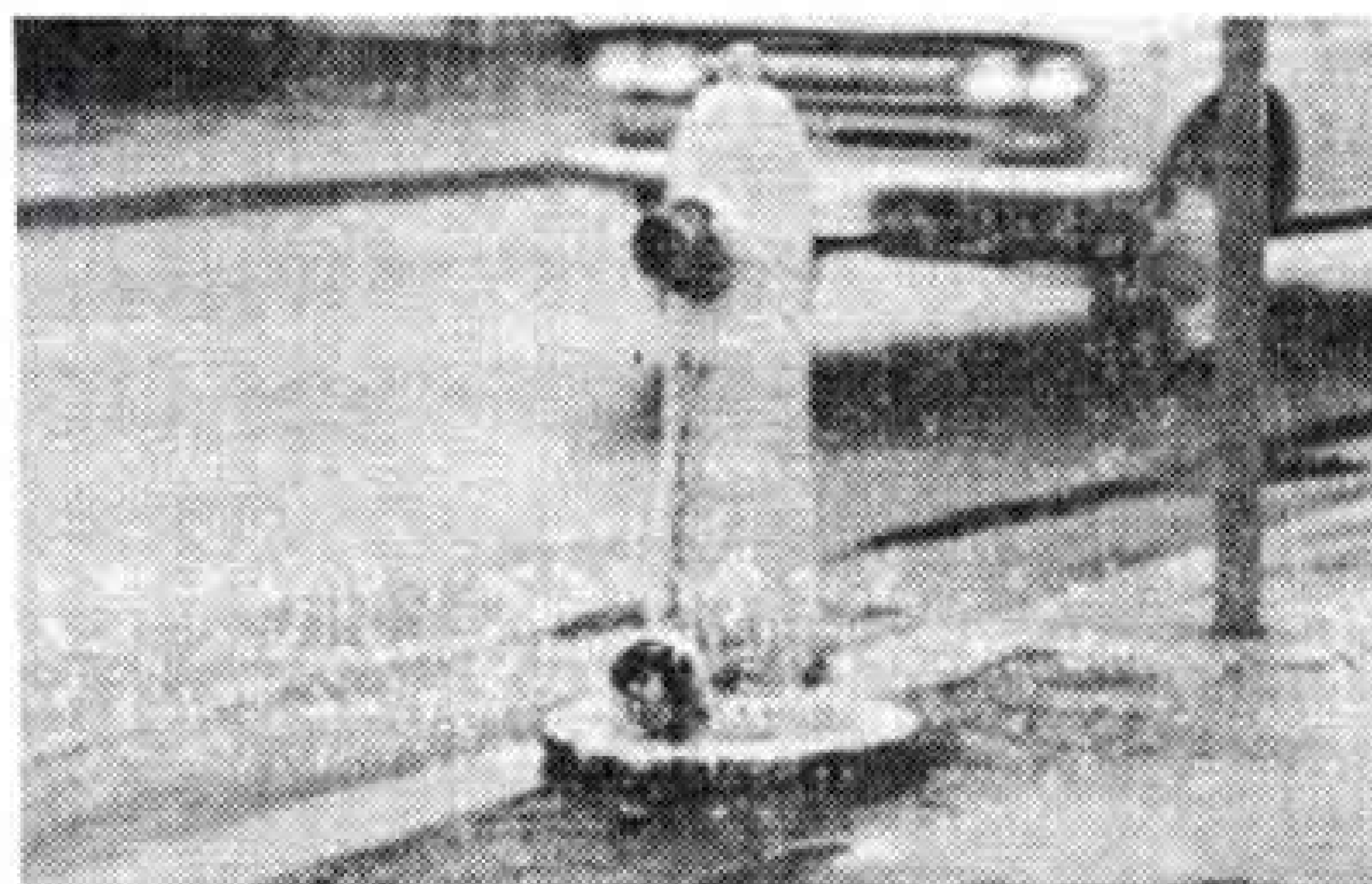
ご指摘の地上式消火栓は、地下式にくらべて確認が容易で操作が簡単な利点があります。しかし、さいきんの交通事情では通行の障害になつていまして。

昨年、車輛によつてこわされた消火栓は18基もありました。このほか、車の出入りのじやまになるので移設してほしいという要望が16件もあり、年ごとに多くなつていまして。

こうした事情から全国的に地下式に切り替えております。富士市もこれからは地下式のものを採用していく方針です。

また、消火栓の新設など消防水利については、隔月ごとに市内全域の調査をしています。この調査で新設場所の検討はもとより、故障カ所の修理を行ない、水利の確保につとめています。

(消防本部管理課)



【こわされやすい地上式消火栓】

固定資産の課税台帳をおみせします



固定資産税を課税する台帳をおみせしますので、関係のある人はご覧ください。特に昨年中に新しく土地を買つたり、家を新築した人はご覧ください。

- ◆お見せする期間は 3月1日から3月20日まで。時間は平日が午前8時30分から午後4時45分。土曜日は正午まで。
- ◆お見せする場所は 市役所 総務部 資産税課 (庁舎3階南側)

市県民税の申告は3月15日まで

もよりの会場へおいでください

市民税課と富士財務事務所は、昭和46年度分の市県民税と事業税の申告受付けを、次の日程で行なっています。なお、所得税の確定申告をする人は、市県民税と事業税の申告をする必要はありません。

- ・市民税課（庁舎3階）3月15日まで
- ・吉永公民館、田子浦公民館 2月24日、25日
- ・大淵公民館 2月26日、27日（午前中）
- ・原田公民館 3月1日、2日
- ・旧富士事務所、旧鷹岡事務所 3月8日～15日まで

3月13日以降はこまかな相談ができませんので、はやめに申告をすませてください。申告を早くすませるため、所得金額から差引かれる社会保険料（国民健康保険や国民年金など）、生命保険料、配偶者控除、扶養控除はあらかじめ記入してからおでかけください。

国民健康保険の証明は市役所納税課（3階南側）、国民年金の証明は年金課（3階北側）で発行しています。

市観光写真コンクールの作品を募集しています

…申し込みは3月31日まで…

富士市を全国に紹介する優秀な観光写真を募集しています。東名や富士山、大淵の滝などの風景、祇園祭や毘沙門天祭などの年中行事、古墳群や平家越などの史跡などの作品をおよせください。なお、例年史跡の写真の出品が少ないので多数応募してください。

- 応募の資格は特にありません。
- 作品は第1部カラー（スライド35ミリ以上、プリントカビネ以上）、第2部白黒（四ツ切）
- 締切りは3月31日まで。
- 送り先は市経済部商工課（〒417富士市永田61の1）。
- 使用材料は富士フィルム製品に限ります。

国勢調査結果

鷹岡地区に住宅が急増

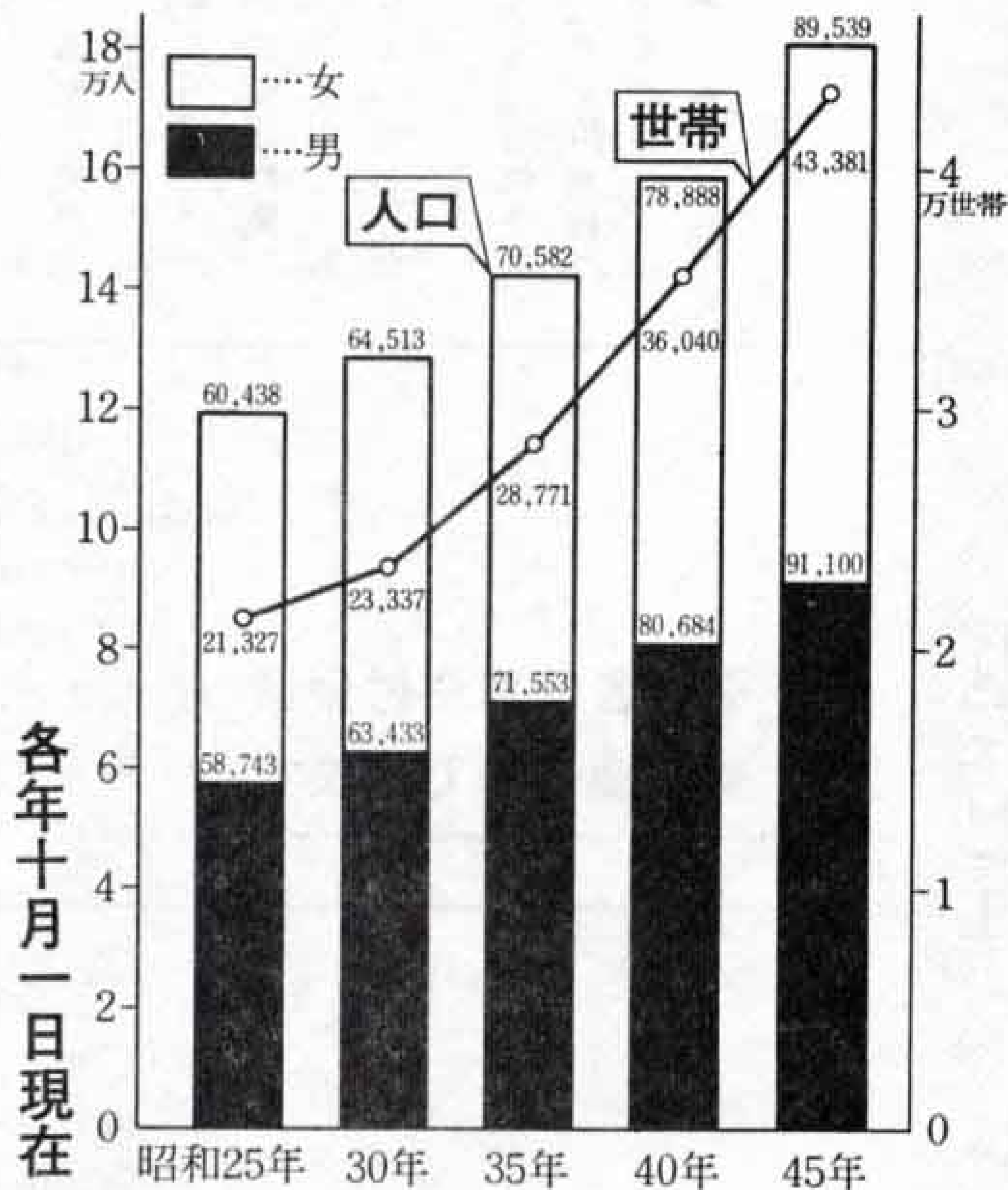
世帯と人口は国勢調査のたびに着実な増加を示しています。世帯を昭和40年と比較すると36,040戸が45年には43,381戸と20.4%の伸びを示しています。地区別では、吉原地区が3593世帯ふえており、富士地区が2395世帯、鷹岡地区が1353世帯それぞれふえています。ところが、伸び率は吉原地区が17.9%、富士地区が19.5%、鷹岡地区が37.5%となつています。

鷹岡地区の急激な増加でもわかるように、さいきんは、丘陵地帯への住宅進出が目立っています。

1平方キロ当たりの人口密度は、40年が741人でしたが、45年は838人で5年間に98人もふえており、富士市の人口の増加ぶりがわかります。

なお、表は昭和25年からの国勢調査の比較です。ちなみに初めて国勢調査の行なわれた大正9年の世帯数は11,018、人口は男31,359人、女31,007人、計62,366人となっており、50年のあいだに世帯および人口は3倍にふえています。

人口と世帯の推移



当直医院

休日当直医院は、富士医師会が急病患者のために定めたものです。急病などでお困まりのときにご利用ください

3月7日

- 内科 渡辺医院（今泉 52-0136）
- 北条医院（依田原 52-1868）
- 渡辺医院（川成島 61-0655）
- 外科 米山病院（吉原4 52-3060）

- 戸田医院（下横割 61-2026）
- 産婦人科 吉見医院（吉原4 52-2399）

3月14日

- 内科 吉原病院（南町 52-0780）
- 土屋医院（吉原3 52-0559）
- 渡辺医院（田子 61-1471）
- 外科 秋山医院（富士岡 34-0075）
- 中央病院（本市場 61-8800）
- 産婦人科 中央病院（本市場61-8800）

3月21日

- 内科 月岡医院（西国窪 52-3996）
- 加藤医院（東比奈 34-0011）

- 三宅医院（松岡 61-0919）
- 外科 石川医院（瓜島 52-1985）
- 西田医院（富士本町 61-0045）

- 産婦人科 望月医院（西比奈34-0445）

3月28日

- 内科 秋山医院（青島 52-1904）
- 富子医院（南滝川 52-1570）
- 佐藤医院（入山瀬 71-3017）
- 外科 鈴木医院（宇東川3 52-2213）
- 望月医院（本市場 61-0401）
- 産婦人科北西医院（本市場 61-0119）

おしらせ

おしらせ

勤労青少年寮生募集

■入寮資格は会社、工場、商店などに就職予定または決定した新規学卒者、25歳以下の勤労青少年（県内外の遠隔地出身者優先）。■入寮期間は原則として2年。■経費は寮費が月額2500円、食費5400円（1日2食朝夕）■募集人員は独身男子50人。■申込みは3月31日まで。■申込み先は富士勤労青少年会館（電52-6129）。■受付時間は午前9時から午後5時まで。木曜日は休館日。

**身障者の地区別
訪問集会開かる**

■市福祉事務所と身体障害者福祉会は、身体障害者のための地区別訪問集会を次のように行ないます。■生活上の悩みや要望などをお持ちの方は、近くの会場へお出かけください。■日程は3月1日昭和通り公会堂。3月4日市農協伝法支所。3月8日元吉原公民館。3月10日吉永公民館。3月13日原田公民館。3月14日鷹岡農協。3月16日岩松公会堂。3月18日富士勤労者会館。なお、いずれの会場も午後7時から開かれます。

県春の写真富士展

■会場は富士文化センター。■期間は3月3日から5日まで。■時間は午前9時から午後6時まで。■展示作品は年末年始にかけての街のスナップ写真50点。

富士市史上下巻と吉原市史中巻を有償でおわけしています。購読を希望される方は、早めにお求めください。富士市史は旧富士市の歴史、吉原市は旧吉原市の歴史を記録したものです。なお、吉原市史は上中下の三巻で組本になつていますが、ただいま上下巻の編集作業を進めていますので、もうしばらくお待ちください。購読を希望される人は、市総務部庶務課へ申込んでください。価格はいずれも千五百円です。

**富士市史、吉原市史
をおわけします**

引揚者特別交付金債券の換金ができます

引揚者特別交付金国庫債券を担保にお金借りられます。引揚者特別交付金国庫債券の通常償還日は毎年8月15日ですが、債券をお持ちの方でその前に換金が必要な方には、債券を担保に国民金融公庫が、お金を貸し出しています。

また、引揚者特別交付金の申込みは、3月31日までですから早めに済ませてください。なお、くわしくは福祉事務所社会係（内線233）へお問い合わせください。

簡易保険に加入を

郵政省では、明るい生活設計のために簡易保険新加入運動を行なっています。簡易保険はわたしたちの経済生活の安全は勿論、福祉の増進に役立っています。加入者から集められたお金は、富士市はもとより郷土の発展に有効に活用され、学校や公共施設の整備などに使われています。簡易保険は国民ひとりひとりの助け合いといえます。市民みなさんの新加入をおすすめします。

**中小企業の退職金
共済制度が改正に**

中小企業退職金共済制度掛金が月額最高4000円、最低400円に改められました。

このため現在の掛金が月額200円または300円の場合は、特別に労働大臣の認定を受けない限り12月分の掛金から400円以上になります。したがって、掛金を400円以上にするのが困難だということで、認定を受けるには、5月31日までに中小企業退職金共済事業団に手続きをすることになります。認定に必要な用紙は、すでに加入者には送りましたので、手続きをしてください。なお、掛金を増額される方は、いままでどおり手帳に付いている用紙で掛金変更届を出してください。不明の点は東部労政事務所（沼津市三枚橋平町1番地、電話0559-62-4562）へお問い合わせください。

電話五一一〇一一三

電話五一一〇一一三